

議会だより



9月定例会

もくじ

○ 平成24年度決算認定	2
○ 9月定例会	4
○ 予算・決算審査特別委員会	6
○ 全員協議会	7
○ 議員研修報告	9
○ 一般質問（6人が町政をただす）	10
○ 町民の声「9月の出来事」	16

決 算 認 定

万円 総額 56億4700万円 (前年比 2億2131万円減)
万円 総額 53億9006万円 (前年比 1億6677万円減)

一般会計

除雪機械(11トン級)

1189万円



購入したドーザー

一般会計

マイクロバス(通学バス)

1台

707万円

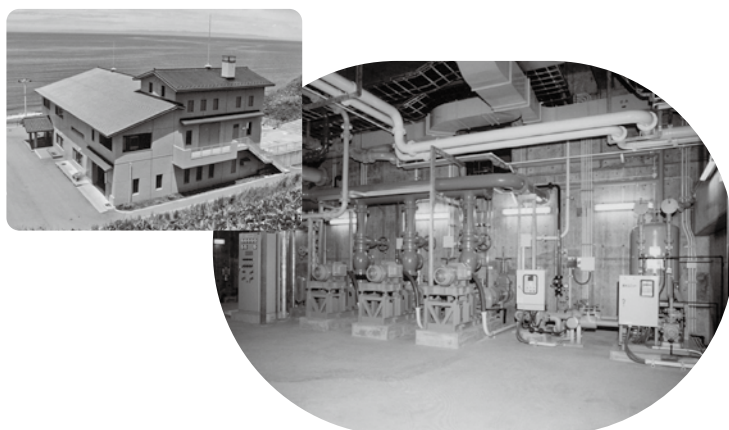


購入したスクールバス

特別会計

久田浄化センター
監視装置更新工事

3381万円



センター外観、監視装置

特別会計

やまや団地造成工事

2544万円



建設中の住宅

平成24年度

一般会計並びに8特別会計の決算は

歳入 一般会計 35億1001万円 特別会計 21億3699万円

歳出 一般会計 34億411万円 特別会計 19億8595万円

注目された事業・重点事業は

一般会計

防災行政無線施設整備工事
4019万円



デジタル無線受信機

一般会計

津波緊急避難場所整備工事
635万円



整備した避難通路（尼瀬地内）

一般会計

海岸背後地整備工事
2073万円



ウォーキングロード（石井町地内）

一般会計

林道船橋鉾ノ入(田中)線開設
第3次工事
5068万円



開設された林道

議会報告3件、平成24年度一般会計・特別会計決算、平成25年度一般会計・特別会計補正予算及び、専決の承認、人事案件など、議案22件が提出され慎重審議の結果、原案のとおり可決、認定、同意しました。なお陳情1件を採択し意見書2件を可決しました。

可決した条例改正など

◆町子どもの医療費助成に関する条例の一部改正

・平成26年4月診療分から入院、通院とも、現行の満15歳を満18歳年度末まで拡充するための一部改正

◆町介護保険条例及び町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

・町税条例の一部改正に伴い延滞金の利率を引き下げるための一部改正

◆町農業基盤整備促進事業分担金徴収条例の制定

・農業基盤整備促進事業に係る受益者から分担金を徴収するための条例制定



採決の様子（本会議最終日）

陳情

陳情第5号

「学費と教育条件の公民間格差是正にむけ私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する陳情

採択に決定

可決した意見書

◆学費と教育条件の公民間格差是正にむけ私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書

提出先

内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長、新潟県知事

◆道州制に反対する意見書

【趣旨】道州制導入後の具体的な国のかたちが示されず、ほとんどの町村は強制合併を余儀なくされ、住民と行政の距離が遠くなり、住民自治が衰退してしまう可能性がある

提出先

内閣総理大臣、副総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

9月定例会

(会期 9月11日～20日 10日間)

* 9月定例会で決まった補正予算 *

会 計		補 正 額	補正後の予算額
一	般 会 計 (第3号)(専決)	9019万円	34億8155万円
一	般 会 計 (第4号)	1億9648万円	36億7803万円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第1号)	1449万円	6億 249万円
	介護保険事業 (第1号)	2029万円	7億3059万円
	簡易水道事業 (第2号)	33万円	2億 424万円
	農業集落排水事業 (第1号)	20万円	1億5600万円
	下水道事業 (第2号)	77万円	1億7786万円
	住宅用地造成事業 (第1号)	951万円	4691万円

一般会計 (第3号) (専決)

7月29日から8月1日の豪雨による災害

主な歳出

- ・ 県単林道工事追加 …………… 330万円
- ・ 県緑のばんそうこう工事(治山) …… 3080万円
- ・ 県単林地崩壊防止事業補助金 …… 600万円
- ・ 農業用施設災害復旧費 …………… 832万円
- ・ 農地災害復旧費 …………… 640万円
- ・ 林業施設災害復旧費 …………… 1242万円
- ・ 道路橋りょう災害復旧費 …… 2290万円

特別会計補正予算

主な歳出

国民健康保険事業 (第1号)

- ・ 療養給付費等負担金返還金 …… 1447万円

介護保険事業 (第1号)

- ・ 基金積立金 …………… 803万円
- ・ 国県支出金等返還金 …… 595万円

住宅用地造成事業 (第1号)

- ・ 団地買戻料 …………… 286万円
(てまり団地)

一般会計 (第4号)

主な歳出

(△は減額)

- ・ NPOねっとわーくさぶらい
10周年記念事業補助金 …… 30万円
- ・ 訪問入浴サービス事業委託料 …… 77万円
(利用者の増加によるもの)
- ・ 県単医療給付管理システム改修委託料
(子ども医療費の拡充に伴うもの) …… 73万円
- ・ 青年就農支援事業補助金 …… 225万円
- ・ 立石地区農業基盤整備促進工事 …… 750万円
- ・ 汐風ドリー夢カーニバル実行委員会負担減
(中越沖地震復興基金充当のため) … △440万円
- ・ きずな実行委員会負担金減 …… △330万円
(中越沖地震復興基金充当のため)
- ・ 農林水産施設災害復旧費 …… 8865万円
(7月末から8月1日の豪雨災害)
- ・ 公共土木施設災害復旧費 …… 7300万円
(7月末から8月1日の豪雨災害)



きずなVI コンサート風景

予算審査特別委員会

質疑

9月定例会において、一般会計及び特別会計補正予算は、予算審査特別委員会に付託して審査しました。

主な質疑

地区改善センター

トイレ改修工事

90万円

問 改善センター（八手、西越）のトイレを洋式にするが中央公民館や海岸公民館ほどの程度洋式になっているのか。

答 中央公民館は男女各2ヶ所、町民体育館は男女各1ヶ所、海岸公民館は男女各2ヶ所です。

今回の改修は地域コミュニティからの要望があり、増設するもので、ウォッシュレットの設置を考えております。

農林水産施設

災害復旧費

8865万円

公共土木施設

災害復旧費

7300万円

問 災害復旧費についてはこれですべてか。

答 農地については今後追加があると思う。町道関係については、これですべてと思われまます。



土砂でふさがれた道路（田中地内）

決算審査特別委員会

平成24年度一般会計及び特別会計決算は決算審査特別委員会に付託して審査しました。



決算審査の様子

主な意見

- ・税徴収の公平性の観点から、徴収にあたっては漏れのないように一層の努力を求め
 - ・学校教育の中でデジタル黒板のより積極的な活用を求め
 - ・観光用借地箇所の範囲と借地料の適正化を求め
 - ・慢性疾患患者の増加防止と改善を図るよう求め
 - ・橋りょう等の維持管理の徹底を求め
- 慎重審査の結果、平成24年度決算は全会一致で認定しました。

人事案件

平成25年10月18日から4年間

教育委員会委員の任命に同意

木川 勇三（川西） 棚橋 正吾（沢田）

全員協議会

主な質疑について報告いたします。

第7回 7月29日

◎出会いサポート事業の実施について

総務課長 婚活事業の概要ですが、10月12日に長岡市のゲストハウス英國屋で行うこととなり、これから新聞、雑誌、ホームページ等でPRを展開していく予定です。

議員 年齢が25歳から40歳ということだが、もう少しゆとりを持たせるべきではないでしょうか。

保健福祉課長 初回ということですが、年齢を限定しての実施となりましたが、今回の状況を見て、今後検討していきま

◎旧JA跡地の方向性は

議員 うしお書店跡地を絡めて考えていくことだが、どのような方向性を考えていますか。

町長 出雲崎の玄関口にふさわしいものとして、交流インフォメーション、研修の場などを検討しています。

◎島崎川の雑木について

議員 雨で増水した際、大きな木があつて危険だと思われ

建設課長 管理者である県の担当が事業費の中で順次対応しているが、今後お願いをしていきます。



川西橋から見た島崎川の雑木

第8回 8月21日

◎7月29日からの豪雨被害について

総務課長 9月に補正予算を組み、全力で復旧にあたりま

議員 農地の補助金申請が難しいという声があり、自力復旧をする方や高齢者に配慮すべきでは。

議員 耕作放棄地の周辺が荒れてしまい、災害を受けやすい状況の改善を検討すべきでは。また、国道402号線の抜本的な改良を望みます。

建設課長 新潟県としては抜本的改革に前向きです。用地取得等に困難がありますが、町も協力しながら進めてまいります。

議員 現状復旧が前程では今後同様の災害が考えられるので、抜本的な改良を検討すべきでは。

議員 被災された方々の個人負担は重いので、税金、貸付その他の制度の活用等の紹介などに配慮ください。
議員 対策本部が設置されな

かったのはなぜですか。

総務課長 局地的な被害状況と天候の状況を見て、設置を検討しましたが、降雨の動き

が早く、実動での災害確認を優先しました。設置しなかったものの、ほぼ同等の動きをいたしました。

議員 402号線通行止めの表示や誘導方法を改善してください。

◎天領の里第三駐車場トイレ閉鎖について

産業観光課長 イタズラにより破損し使えない状況です。塩害により全体的に痛みがひどく、取り壊して本館寄りに新しいトイレを建設予定です。

議員 観光の町としての観点からもトイレは重要です。縦に長い敷地でもあり、高齢者や子どもに配慮すべきでは。

町長 機能、デザインの素晴らしい木造のトイレを作ります。その上でさらに今の位置に必要であれば検討します。

◎電波塔落雷被害の補償について

議員 以前、落雷により近くの住民の家電製品に被害があった。町有地などもあり、業者に申し入れて被害を防ぐための対策、被害時の対応を検討すべきでは。

総務課長 業者には話をしてあるが、今後確認して対応します。

第9回 9月20日

◎津波避難訓練について

議員 自力で避難できない方々をどうするか、再検討いただきたい。

総務課長 今年度は平日に訓練を予定しています。問題点を洗い出した上で来年に向け

で検討します。

◎きずなVIの開催について

議員 29日は八手センターのレクリエーションと日程が重なって、非常に対応に苦慮しているのですが、このような時は早めに連絡・相談を要望します。

産業観光課長 急ぎよ決まってしまう、大変申し訳ありません。今後、日程調整には十分注意します。

◎デイサービスセンターふれあいの里付近の排水の件について

議員 降雨の際、雨水がはけ



デイサービスセンター
玄関脇に土のうが準備されている

切れず、職員が土のうで対応しているが承知していますか。

保健福祉課長 地形的に排水が難しく、根本的な改修をするにはかなり大がかりとなり、費用もかさみます。対応を検討していくが、現段階では、降雨時に細かく注意をしています。

◎小学校の職員配置について

議員 全国学力調査の結果を踏まえ、小学校一クラスの児童数が30名を超えていることを考えると職員の増員が必要なのではないか。

教育長 職員数が少なく苦労していることは承知しています。県の定数を考えると増員は難しいところがあるが、人事異動ではお願いをしており、学校でも工夫して対応していきます。

◎小学校入口の道路について

議員 スクールバスが毎日出入りするが、狭く危険であり、何らかの対応ができないか。

総務課長 警察や関係各課で協議していきます。



出雲崎小学校入口のT字路

全員協議会とは
議案の審査又は議会の運営に関し、協議又は調整を行うための場で、議長の招集で開かれる会議です。一般公開されており、誰でも傍聴においで下さい。

議会のしごき (主なもの)

(平成25年7月～9月)

- 7・4 新任議員研修会 (新潟市)
- 10 議会報特別委員会 (議会だより第80号)
- 16 議会報特別委員会 (議会だより第80号)
- 29 第7回全員協議会
- 21 第8回全員協議会
- 27 町村議会議員研修会 (新潟市)
- 4 出雲崎町・刈羽村議会議員懇談会
- 11 議会運営委員会
- 9 9月定例会招集日
- 4 予算審査特別委員会
- 12 議会報特別委員会 (議会だより第81号)
- 17 決算審査特別委員会
- 18 社会産業常任委員会
- 20 総務文教常任委員会
- 18 定例会2日目 (一般質問)
- 20 議会運営委員会
- 26 定例会最終日
- 26 第9回全員協議会
- 26 現地調査 (旧JA跡地)
- 26 津南町議会行政視察受入れ
- 27 議会報特別委員会 (議会だより第81号)
- 27 議長会議 (新潟市)

議員研修報告

8月27日新潟県自治会館にて県内10町村の全議員を対象に議員研修会が開催されました。初めに、新潟県の高井教育長から『今後の人口減少社会に対応した教育の在り方』と題し講演がありました。

人口減少に伴う学校の変化では、今後、統廃合が出てくると思われる中で、小中学校において最低一学年1クラスは維持しなければなりません。子どもが減ってくると、部活動などの選択肢が減り、運動会・体育祭また勉強でも切磋琢磨する機会がなくなり弊害が出る。

人口減少に対応した教育の在り方では、家庭での学習時間が全国と比較し小学生では上回っているが、中学生になると平均値になり、それが学力に比例している。

体力面では、生活が便利になり通学時に歩くことが減

り、外で遊ぶ機会の減少で昭和60年に比べると体力の低下が目立っている。

いじめについては、子どもの数が減りすぎていることにも問題があり、地域での見守りや体験学習を取り入れるなどで効果があり、注意深く見ていく必要がある

とのことでした。

次に、新潟県立大学の田口准教授をコーディネーターに迎え、シンポジウム『議会改革』を考えると、県内4町から議員4名が、各議会の活性化に向けての取組や、議会報告会の実施、議会基本条例の制定等、いかに住民の負託に応え必要とされる議会になる

かをパネルディスカッション形式で報告しました。

各町村の人口規模は違えど抱えている課題は同じく横の繋がりの中で勉強も必要と感じました。

(仙海直樹)



パネルディスカッション

開かれた議会

必要とされる議会を目指して

議員が地域に伺います

各種団体や集落、サークル等で議会事務局にお申し込み下さい。

〈電話 78-3112 FAX 41-7322〉

議会モニター

議会運営に関する要望、提言その他の意見をお聞きして、議会運営に反映させるため、議会モニターを募集します。

- ◎定員5名
- ◎満20歳以上の町民
- ◎任期2年
- ◎町議会運営に関心があり、かつ公正な社会的識見を有する方

詳しくは今後、回覧等でお知らせいたします。

一般質問 **おたずねします**
お答えします



諸橋 和史 議員

出雲崎町の将来について合併問題

国・県機関の区割り一本化を

質問 出雲崎町は法務局と消防署は柏崎市、広域圏や地域振興局等は長岡市になっています。今後のことを考え、町長は国、県に対し一本化されるよう要請をしていくのか。また、国会等で道州制の問題が議論されているが、どう対応していくのか伺います。

答弁 統合、一本化を県に要望していくつもりはありません。特に消防署などは道州制の問題や各省庁等の再編成がないとできないと思われる。

人口減少対策は

質問 人口減、少子化、勤め先の少なさを町長はどう解決していきますか。我々が中学生の頃は西越地区の同級生だけでも17人以上、現在は一学年30人前後です。人口も8千人以上あったのに現在は5千人を切る状態です。

勤め先は町内に少なく、若者の流出、町外への通勤、一次産業二次産業共に疲弊して自営業も減少しています。今後どう考えていくのか伺います。

今後の財政は

質問 現在、町財政は一般会計・特別会計の合計で56億円に及んでいます。エコパーク

答弁 大きな市になっても拠点は出雲崎で変わりなく、距離が決して市の中心に近づくわけではありません。出雲崎はきめ細かな行政運営を行い、合併するつもりはありません。

の交付金廃止、原発の交付金等の先細りなどをふまえ、自主財源の少ない当町はどう対応していくのか伺います。

答弁 今、わが町は健全財政を保っている。一般会計、特別会計共に黒字となっており、財政比率も県下では上位を保っており、健全財政を維持し、合併をしないで出雲崎は出雲崎でありたいと考えています。



出雲崎の将来は



仙海直樹
議員

旧JA跡地は

今までの経緯は

質問 旧JA跡地の利活用について、7月の議会全員協議会で、方向性が示されましたが、購入の経緯から説明を願います。

答弁 平成19年の中越沖地震の被害でJAが撤退し、その後、町が平成21年に土地を取得しました。平成22年2月に利活用に向けての検討会を設置し、2年間にわたり検討を行い、平成24年3月に答申が出たところです。

今後の方向は

質問 旧JA跡地は今後どのような方向性で考えていますか。

公営住宅と情報発信

答弁 一つには若者向けの公営住宅を考えています。それとは別に、駅前のお書店の跡地を購入し情報

発信のための場、サークル等の交流の場を作りたい。

利用者の課題は

質問 私も出雲崎駅前がこれまで良いとは思いません。しかし、現在の状況で観光客は主に海岸地区に行きますから、情報発信の場でしたら海岸部に作る方が良いのではないかと思います。

答弁 JRを利用する方もいるので案内所がないと不便だと思います。今後の町の観光を考えた時、新しい開拓をしなければならず、広く観光客に利用してもらわなければなりません。

また、電車待ちの高校生にも利用して頂きたいと考えます。

質問 例えば、アオーレ長岡にあるように、障害者福祉施設の方がパンなどの販売等ができ、その方達の収入に繋がるといったものも検討はできませんか。

答弁 内容についてはこれからの検討ですが、あまり形式にとらわれず柔軟な発想の下、多目的に色々な方から利用していただきたいと考えます。

サークルの交流の場は

質問 サークル等の交流の場と言いますが、それは旧JA跡地にと考えているのですか。

答弁 駅前の旧うしお書店の跡地で1階を情報発信の場、2階を交流の場と考えています。

集合住宅では

質問 若者向けの集合住宅と言いますが、集合住宅よりは、石井町のような一戸建ての方が良いのではないですか。

他にも、児童クラ

ブや病児・病後保育を行える施設等の要望も聞きますが。

答弁 今後、人口対策をする上での試みに、本町として集合住宅もやりたいと考えています。団地もあり、一戸建てもあり、集合住宅もある中で子育てに関するものを結びつけていきたい。

議員が言うような子育てに関するものも理解できますが、それを駅前に集約するとすると無理が出るので、今ある施設を利用するなど、それなりに検討していきたいと思



旧JAの跡地



宮下孝幸
議員

原発再稼動について

再稼動を容認か

質問 3月の番組で、出雲崎町は原発再稼動を容認したとの報道が流れました。

再稼動容認について、私は極めて慎重であるべきと考えますが、町長はどのような見を基に再稼動容認と述べられたのか見解を伺います。

再稼動容認する

答弁 安易な考えではなく、あくまでも過去の過酷な経験を踏まえ、国がその安全を保障し、規制委員会が安全を確認したならば、再稼動はすべきと思っています。

規制委員会の基準

質問 厳しいと報じられる日本の規制委員会の基準は、本当に厳しいのでしょうか。原発先進国のアメリカでは、日本とは比較にならない基準で、稼動後も検査官による抜打ちでの立入検査が毎日行わ

れています。

要は、日本の規制基準とは、稼動するための条件を規制するもので、稼動後には、ほぼ電力会社任せということが言えます。

津波や地震の対策も重要です。しかし、どんなに性能の良い車でも、人が運転を誤れば重大事故を起こします。

これを聞かれても町長、お考えに変わりありませんか。

万全な防災対策

答弁 過去、歴史の反省を顧みない福島事故は、議員ご指摘のとおり、確かに人災とも言えます。

今回の震災の反省から、防潮堤・防潮扉、あるいは非常用電源の確保など、何十もの対策が立てられた中、国や規制委員会が安全を認めたら、私はやはり稼動すべきと考えます。

世界の事故は人災から

質問 世界の原発事故例はいくつも存在しますが、スリーマイル島やチェルノブイリ原発を含め、どの原発も全て、天災により事故に至った事故例は一件もありません。

全て、何らかの人的ミスから重大事故を引き起こしています。

つまり、稼動前より、稼動してから安全の担保がなければ、本当の安全とは言えません。代替エネルギー問題も、アメリカのシェールガス

産出により、世界のクリーンエネルギー事情は、大きく変化しつつあります。

どうか、今後の発言は議会の考えもしん酌して発言していただくことを、お約束いただけますか。

個人的に

答弁 議会や町民の意見も聞き、しん酌はしたいと思いますが、個人小林則幸として問われれば、はっきり申し上げます。私は、再稼動容認の考えを変えるつもりはありません。



停止中の柏崎刈羽原発

町ボランティアセンターの 体制整備について



高桑佳子

議員

コーディネーターや 啓発活動は

質問 近年、日本はいくつもの大災害に見舞われていいます。被災地にはたくさんの方のボランティアが支援に携わり、災害の復旧に大きな力となってきました。

当町においても、災害時にはボランティアと支援ニーズを結びつける災害ボランティアセンターの役割が重要と考えられます。町の体制整備はどのようなになっているのか、また、どのように啓発活動を進めていくのかを伺います。

日頃の奉仕活動を 大切に

答弁 大災害に備えての体制の整備については着々と準備を進めています。しかし、体制の整備もさることながら、日頃からの社会奉仕活動に参加しようとする人が少なく

なってきました。普段からのボランティア活動の普及啓発に努め、繋がりを深めた上で災害時のボランティアを考えていきたいと思えます。

窓口の一本化を

質問 現在ボランティアの申し出は、社会福祉協議会や個々の機関で受け付けていますが、窓口が一本化されておらず、横のつながりが無いように思われます。「受援」つまりボランティアを受け入れる能力はとて大切ですが、そのための場と機会、そして体制作りをどう進めていくのでしょうか。

具体的な意見を 聴く場を設ける

答弁 確かにお互いの認識を深める場は必要と考えます。これからのボランティア活動を考える上で、何がネックでどういった体制作りが必要なのか

のか、団体の代表の方を始めたくさんの方の具体的な意見を聞きながらしっかりと組

出雲崎版子ども子育て会議 の設置について

織体制作りのために行動を起こしていきます。

地域の支援ニーズの 把握が急務

早急に対応する

質問 子ども子育て支援制度の実施には、「社会保障と税の一体改革」の柱として消費税率引き上げに伴う財源が充てられ、地域のニーズに応じた多様な子育て支援を充実させるための財政支援を行うものです。

答弁 子ども子育て支援制度は平成27年度からの本格スタートの予定ですが、当町においては、国の基本方針を参考にしながら、今年度中に雲崎版子ども子育て会議を設置して、子育て支援のニーズ、調査等を実施した上で、平成27年度から本格的にスタートできるように、来年度中に町の子ども子育て支援事業計画を取りまとめたいと考えています。

一時預かりや、てくてくのような交流拠点の設置、児童クラブの対象学年引上げなど、当町でのニーズを把握するために、早急に出雲崎版子ども子育て会議を設置するべきと考えます。出雲崎町独自の子ども子育て支援の事業計画をどのように策定していくお考えか伺います。



公園で遊ぶ子どもたち

小中一貫教育について



中野 勝 正
議員

現在の取組は

質問 義務教育9年間を連続した期間として捉え、児童生徒の発達段階に応じた一貫性のある学習指導、生活指導を行うことは重要です。小中学校の教職員や児童生徒が連携や交流を深め、協働して系統的継続的に教育活動を行うために、小中一貫教育に力を入れるべきと考えます。

町はどのように考え、取り組んでいるのか、お聞きします。

教育長 小中一貫教育の形態は校舎一体型か別々かを始め、極めて多様ですが、小中一貫教育は確かに有効な教育の一つと考えます。

当町は小中学校が各校ずつで連携しやすい状況にあります。それぞれの特性、独自性を活かし、学校、教育委員会、地域の連携を重視した教育を図っています。中学校英語教員の小学校への派遣、小

学校ではたくさん地域の方々から協力をいただき、地域に根差した教育を行っています。

カリキュラムの作成は

質問 小中一貫教育のカリキュラムの作成はされていますか。

教育長 平成26年度実施に向けて、子供の発達段階を考慮した指導の基本的な考え方や指導方法を検討、作成中です。具体的には学習指導、生徒指導、特別支援教育の分野で、子どもの特性を考え、次のように区分して検討中です。

- ①小学1年生～小学4年生
 - ②小学5年生～中学1年生
 - ③中学2年生～中学3年生
- これは子どもの発達段階を考えた「ねらいや指導方法の区分」であり、このように体系的に捉えることで、より系統的に接続した指導ができるも

のと考えます。

交流を深めて

質問 児童生徒、教職員の交流は図られていますか。特に小学校高学年は事前に中学校の授業体験をすることも必要ではないでしょうか。

教育長 具体的な交流として、いじめ根絶事業で児童生徒の相互訪問による意見交換、小中学生が同時に講演を聴く「子ども未来の夢体験」、小学校6年生の「中学校一日体験入学」。

それに「あいさつ運動」や教職員合同研修会（年7回）

などを行っています。今後、小学校5、6年生と中学校との交流を検討していきたいと思えます。

今後の方向性は

質問 今後はどうのように進めていくお考えでしょうか。

教育長 完全一体型の小中一貫教育は施設面を始め、多くの課題があり、現段階では考えていません。現状のまま、小中9年間がより密接となり、また連携した教育ができるよう進めてまいります。



中学生のあいさつ運動（小学校玄関前）

国道402号線(久田～寺泊間)の 根本的改良を



三
輪
正
議員

質問 当町の大事な幹線道路である国道402号線は、8月の大雨で一週間の交通止めとなり、生活や観光面で大きな影響を受けました。

1時間雨量25ミリや連続雨量100ミリで交通止めとなり、災害時の避難道路でもありますので、国、県に強力に要望し、早急な根本的改良を望みます。

工事のネックは

土地問題

答弁 大変大事な幹線道路であり、県に強く工事を要望しております。県は多額の予算を投入して、根本的な工事をする方針ですが、土地問題が難しいと聞いております。

質問 土地問題が障害とのことですが、関係者に理解を得るよう努力してもらいたい。
答弁 関係者の理解を得るよう最大限の努力をいたします。

町道の外灯管理の 徹底と一元化を

質問 町道の町管理の外灯の設置数と管理体制はどうなっていますか。

外灯は総務課が担当

答弁 町道の交通安全灯は135灯、公共施設の防犯灯は27灯で合計162灯です。

稲川トンネル内の照明灯は建設課が管理しておりますが、他は総務課が担当しております。

日常管理の徹底を

質問 消えている、また昼間も点灯している外灯が、長期間放置されていることがあるが、管理の徹底を進めるべきであると考えます。

町民からの連絡を

答弁 町職員だけでは無理なので、町民の皆様からも故障の外灯を見たら役場へ連絡をお願いしたい。区長会議でもお願いする。

LED電球に切換えを

質問 LED電球は従来の電球に比較して、電気使用量が約60%、CO2が約60%削減

され、電球の寿命も大幅に伸び、経費の節減となるので切換えを進めてはどうでしょうか。

LED照明を推進する

答弁 LED電球は価格が高い点がネックでしたが、近年は大幅に価格が下がっております。今までは、エバーライト照明への切換えを進めてまいりましたが、今後はLED照明への切換えを推進してまいります。



危険がいっぱいの402号線(久田地内)

町民の声

9月の出来事



下小竹 重住 英夫



健康で楽しい毎日を

議会だよりの原稿依頼を受け一週間、何を書こうか迷っているうちに、メ切日が明日に迫って来た。しかたがないので、ここ数日の出来事を書いて見る事にす

5日、立川病院で5年前に胃癌の手術を受け、5年目の検査の結果を聞きに行き、完治したとの事。晴ればれとした気分帰って来る。健康の有難さを心から感じた一日だった。

15日、集落の秋祭が行われ、久しぶりに酒を多く飲み、帰ってすぐに眠ってしまった。

16日、台風18号が日本列島に上陸、テレビ等で被害状況を見せられると、自然の力の前に人間がいかに小さいか思い知らされる。

19日、中秋の名月を、缶ビールを飲みながら鑑賞する。ちなみに私の70才の誕生日でもある。特別に祝いのない質素な誕生日の夜であった。

22日、妻の実家へ稲刈りの手伝い、バイトの仕事も今月は16日間も勤める。少し働き過ぎかも!!

今日は秋分の日、墓参りをし、菩提寺へ『志』を届ける。今月もあと一週間、何はともあれ元気に過したい。

表紙の小話



例年になく難儀をした稲刈りも、ようやく決着(?)を見て、いよいよ秋本番を迎えました。スポーツの秋、芸術・文化の秋、食欲の秋等々、その楽しみ方は様々です。

秋一番を切って行われた出雲崎中学校の体育祭、夏休み返上で準備してきた中学生たちの想いがあふれ出るような一日でした。応援合戦、綱引き、リレー、地域の人や保護者が参加しての玉入れや台風の日レース、どれも楽しく、見ごたえのあるものでした。解団式での涙を見ていると、「みんな、精一杯頑張ったね。」と、こちらの胸もいっぱいになりました。

さあ、出かけましょう！
思いがけない秋が発見できるかもしれません。
(高桑佳子)

編集後記

「議会だより」は町民の皆さんに議会、議員の活動をお知らせする大切な情報手段であります。年4回の定例会終了後、出来るだけ早く発行したいと考えております。

決算認定が主議題の9月議会が終了して、今月議会だよりの編集と10月上旬開催の第4回出まへ議会の準備に追われる日々です。町民と議会、議員がお互いに意見交換することにより、議会活動を知ってもらうとともに、町民の皆さんの要望、意見を取り入れて「住みやすい、住んで良かった出雲崎」を作るために努力すべきと考えております。

6月に施行した「議会基本条例」を確実に実施するため、議員全員で真剣に取り組んでいく決意ですので、皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。(三輪 正)

議会報特別委員会

- 委員長 三輪 正
- 副委員長 仙海直樹
- 委員 加藤修三
- 委員 高桑佳子